

夕張市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート
<集計概要報告書（就学前児童・小学生のいる世帯）>

<概要版>

調査概要

(1) 調査地域

夕張市全域

(2) 調査対象

平成 25 年 10 月 1 日時点での夕張市住民基本台帳に登録されている就学前児童・小学生児童が属する世帯

(3) 標本数

未就学児童 176

小学生児童 184

(4) 調査方法

未就学児童が属する世帯 配布は郵送、郵送又は保育所を通じての回収

小学生児童が属する世帯 配布は郵送 郵送又は小学校を通じての回収

(5) 調査期間

平成 26 年 1 月 27 日（月）～ 2 月 10 日（月）

回収結果

	標本数	有効回収数（回収率）
未就学児童が属する世帯	176	81（46.0%）
小学生児童が属する世帯	184	87（47.3%）
合 計	360	168（46.7%）

■就学前児童調査報告

□お子さんご家族の状況

- ・ 回答者の90%が母親。また回答者の87%は配偶者がいる。
- ・ 子育てを主にしている人は、65%が父母両方、31%がおもに母親がしている。
- ・ 世帯での携帯電話の保有台数は、「2台」が74%、「3台」が16%。

□保護者の就労状況について

- ・ 父親の約71%がフルタイム、母親は24%がパート・アルバイト、19%がフルタイムに就労している。
- ・ パート・アルバイトで就労している父親の今後の希望は、「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しい」及び「パート・アルバイトを続けたい」が各50%。母親は45%が「パート・アルバイトを続けたい」、40%が「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しい」と考えている。
- ・ 就労していない母親のうち40%が、「一番下の子どもが成長したら就労したい」と考えている。
- ・ 一番下の子どもの希望年齢は「2歳」及び「3歳」がそれぞれ25%。
- ・ 現在就労していない母親が今後希望する就労形態は、73%がパート・アルバイトで、希望日数は、週3日及び週5日がそれぞれ35%だった。

□平日の定期的な教育・保育事業について

- ・ 幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用は、70%が「利用している」。利用している施設は認可保育所69%、ユウパロ幼稚園16%、その他の認可外保育施設12%で、週5日利用が64%だった。
- ・ 利用している教育・保育事業の場所としては、96%が夕張市内だった。
- ・ 今後の利用としては、91%の人が「利用したい」意向で、79%の人が夕張市内を希望している。
- ・ 他市町村で利用したい理由としては、「教育・保育の内容」、「通勤経路」、「家族（祖父母）等がいる」がそれぞれ25%だった。
- ・ 教育・保育事業を利用していない理由は、「子供がまだ小さいため」が58%で、利用したい年齢としては「3歳」が71%、「4歳」が28%だった。
- ・ 定期的に利用したい事業は、認可保育所が53%、ユウパロ幼稚園が35%、その他認可外の保育施設が16%となっている。
- ・ 子育て支援事業の利用状況では、「地域子育て支援拠点事業を利用したことがある」が14%で、91%が他の市町村での利用だった。
- ・ 子育て支援事業の利用希望では、病児・病後児保育が43%、地域子育て支援拠点事業が35%だった。

□地域の子育て支援事業について

- ・ 地域子育て支援事業では、85%の人が「利用していない」。利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」人が61%だった。また「利用していないが、今後利用したい」人は22%だった。

□土曜・休日の教育・保育事業の利用希望について

- ・ 土曜日の定期的な利用は、「利用する必要はない」が58%、「月に1~2回は利用したい」が18%だった。
- ・ 休日の定期的な利用は、「利用する必要はない」が72%、「月に1~2回利用したい」が19%だった。
- ・ 幼稚園を利用している人のうち、夏休みや冬休みなどの長期休暇中は「利用する必要はない」が14%、「週に数日利用したい」が6%だった。

□病気やケガの際の対応について

- ・ 定期的に教育・保育事業を利用している人のうち、43%の人が病気やケガで利用できなかったことがあった。その場合の対処方法としては、「母親が休んだ」が77%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が34%、「父親が休んだ」が25%だった。
- ・ 病児・病後児保育施設の利用に関しては、「利用したいと思わない」53%、「利用したい」が46%だった。利用したいと思わない理由としては、「親が仕事を休んで対応する」が53%、「他人にみてもらうのが不安」が40%だった。

□不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

- ・ 教育・保育事業の不定期利用については、84%の人が「利用していない」。利用希望では、54%の人が「利用する必要はない」、37%の人が「利用したい」と考えている。
- ・ 利用したい理由としては、「冠婚葬祭や通院などのため」が63%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習いごと等）リフレッシュ目的」が50%だった。
- ・ 子どもを泊りがけで家族以外の人に預けた機会は、76%の人が「なかった」と多数を占めた。「あった」と答えた人は19%だった。預けた人の場合、対処方法としては「親族・知人にみてもらった」が81%、「仕方なく子どもを同行させた」が18%だった。

□小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・ 低学年の放課後の過ごし方としては、「自宅」が13%、「放課後児童クラブ」12%、「習い事」8%だった。
- ・ 高学年の放課後の過ごし方としては、「自宅」が14%、「習い事」10%、「祖父母や友人・知人宅」3%、「放課後児童クラブ」は2%だった。

□家庭の子育てと子育て環境

- ・ 父親の育児に参加については、「よくしている」が59%、「ときどきしている」24%だった。
- ・ 家事の分担においては、85%の人が「男女がたがいに協力し分担して行すべき」と考えている。
- ・ 子育てに関する不安や負担については、47%の人が「あまり不安や負担は感じない」と答えている。33%の人が「やや不安や負担を感じる」だった。
- ・ 不安や負担を感じる人の理由としては、「子どもの勉強や進学」及び「経済的な不安・負担」が36%のほか、「自分の時間を十分もてない」が33%、「育児で疲れる」と「子どもとの時間を十分もてない」が24%だった。
- ・ 子育てをする上で近所や地域に望むことでは、「子どもが危険な目にあいそうなときは助けや保護をしてほしい」が74%、「子どもが良くないことをしているのを見たら注意してほしい」が66%、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、子どもにかかわってほしい」が32%だった。
- ・ 居住地区の子育て環境としては、「まあまあ子育てしやすいと思う」が32%である。
- ・ 夕張市の子育て支援に期待することは、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が75%のほか、「安全な公園を整備してほしい」49%、「親子が安心して集まれる身近な場所・イベントの機会がほしい」42%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」40%だった。
- ・ 自営業等の方の家庭での保育について、7%が「同年代の子ども同士の集団生活のルールを学ぶ機会がなく、将来に不安がある」と思っているほか、3%が「子どもを見守る目が多く、成長に有益」、また3%が「家庭で保育している親同士の情報共有が必要」と思っている。

■小学生調査結果

□お子さんご家族の状況について

- ・ 回答者の約86%が母親。また、回答者の82%は配偶者がいる。
- ・ 子育てを主にしているのは、「父母両方」が63%、「おもに母親」が32%。
- ・ 世帯での携帯電話の保有台数は、「2台」が57%、「3台」が17%。

□保護者の就労について

- ・ 父親は64%がフルタイム、21%が自営業。また母親は39%がパート・アルバイト、21%が自営業、18%がフルタイムに就労している。
- ・ 約9割は日常的若しくは緊急時には子どもをみてもらえる「祖父母等の親族」おり、緊急時に子どもをみてもらえる「友人・知人」がいる人は15%。しかし、7%の人はいずれもいないと回答している。
- ・ 祖父母等の親族に子どもをみてもらう場合、57%の人は「安心してみてもらえる」としているが、26%の人は「心苦しい」と感じ、22%の人は「時間的制約や精神的な負担」を心配している。
- ・ 友人・知人に子どもをみてもらう場合、53%の人は「安心してみてもらえる」としているが、33%の人は「心苦しい」と感じている。
- ・ 子育ての上で85%の人が「気軽に相談できる人がいる」と答え、相談先としては祖父母等の親族が85%、友人や知人が75%、学校の先生42%、保育士・幼稚園教諭が13%となっている。

□放課後の過ごし方について

- ・ 低・中学年のお子さんの放課後児童クラブの利用状況は75%が「利用していない」。「利用している」は24%だった。
- ・ 利用者の週当たりの利用日数は5日及び6日が各41%で、利用の理由としては「現在就労している」が100%だった。
- ・ 放課後児童クラブの日曜日の利用に関しては、「利用は考えていない」が76%だった。
- ・ 現在利用していない人の今後の利用意向は、82%が「今後も利用しない」。「利用したい」は17%だった。また、利用したい人の44%は、日曜日の利用意向が「ない」と回答している。
- ・ 利用したい理由として、「現在就労している」が44%、「就労予定がある／求職中である」33%だった。
- ・ 低・中学年のお子さんがある方の5年生以降の放課後の過ごし方として、「クラブ活動などの習い事」が30%、「放課後児童クラブ」21%、「放課後子ども教室」14%だった。また「小学6年生まで放課後児童クラブを利用したい」は33%だった。
- ・ 小学生の子ども全体の放課後の過ごし方は、「家で家族（祖父母等）と過ごす」49%の他、「スポーツ少年団等に参加」33%、「友人と遊ぶ」31%、「家でひとり（兄弟のみ）で過ごす」25%などだった。
- ・ 設置を望む放課後安心して過ごせる施設については、「児童館」が64%、「学習スペース」が48%、「図書コーナー」が47%、「パソコン・コーナー」が20%だった。
- ・ 登下校時利用のバスの形態については、「今のままで良い」が42%、「専用スクールバスで送迎」が33%、「登下校時にちょうどよい時間帯のバスを走らせる」が13%だった。また、バスの乗り換えについては、56%が「今のままで良い」。「乗り換えは反対」は16%だった。

□ご家庭での子育てと子育ての環境について

- ・ 父親の子育てへの参加は、「よくしている」が48%、「ときどきしている」が28%。
- ・ 家事の分担においては81%が「男女がたがいに協力し分担して行うべき」と考えている。
- ・ 家庭での学習時間について、70%は「ある程度やっている」と感じているが、16%は「ほとんどやっていない」と感じている。
- ・ 子育てに関する不安や負担については、「やや不安や負担を感じる」が42%、「あまり不安や負担は感じない」39%だった。
- ・ 子育てに不安や負担を感じる理由としては、「子どもの勉強や進学」が69%、「経済的な不安・負担」41%、「子どもとの時間を十分にもてない」32%、「子どもの知的・精神的発育」が24%だった。
- ・ 居住地区の子育て環境としては、「まあまあ子育てしやすいと思う」が32%だった。
- ・ 子育てをする上で近所や地域に望むことは、「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは注意してほしい」が71%、「危険な目にあいそうなときは手助けや保護をしてほしい」が67%、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、子どもにかかわってほしい」が39%、「子ども連れで交通機関や施設を利用するときに困っていたら手助けしてほしい」が17%だった。
- ・ 夕張市の子育て支援に期待することは、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が71%、「安全な公園を整備してほしい」56%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」34%、「親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」が32%、「保育サービスを充実してほしい」が17%だった。

以上